

「税を考える週間」作品表彰式



税務課 住民税係 ☎(232)4911

毎年11月1日～17日の一週間は、税務行政への理解と信頼を高めるため、税について考える週間として定められています。

今年も、小中学生の税を題材にした作品が多数応募され、令和元年11月13日(水)に光の森市民センターで表彰式が行われました。

表彰式では、作文の部で南九州税理士会長賞を菊陽中学校3年生の櫻木寧々さん(下原)が受賞するなど、本町の小中学生5人が各賞を受賞しました。



表彰式で笑顔の受賞者と後藤町長(中央)

	賞	学校名	学年	氏名
作文の部 (中学生)	南九州税理士会長賞	菊陽中学校	3年	さくらぎ ねね 櫻木 寧々(下原)
	菊池税務署長賞	菊陽中学校	3年	たけなか ちな 竹中 智菜(緑ヶ丘)
	菊池地区納税貯蓄組合連合会会長賞	菊陽中学校	3年	おがた ひなの(緑ヶ丘)
書道の部 (小学生)	菊陽町長賞	菊陽中部小学校	6年	たかみや わかな 高宮 和奏(宮ノ上)
	菊池関税会会長賞	武蔵ヶ丘北小学校	5年	いわた 莉心(にじの森)

受賞した櫻木さんの作文 納税は助け合いの心

中学2年生の夏、私の家族は熊本市内からお隣の菊陽町へ引っ越しをしました。私は生まれてからずっと熊本市内で育ったのですが、菊陽町にはよく買い物に来ていたので、あまり違和感はありませんでした。けれど、両親は違ったようです。正直、私にはよく分からなかったのですが、住宅を購入する際に発生する税金や、住んでいる自治体に支払う税金など、地域によって金額が異なるものがあるようで、固定資産税や所得税、住民税：聞きなれない単語が2人の間で飛び交っていました。でも、私には他人事だったので、気にも留めませんでした。

引っ越してすぐ、役場から封書が届きました。封書には「菊陽町子ども医療費受給者証在中」と書いてありました。母曰く、子どもが病院にかかった際、受診料を助成しますよという証明書なのだそう。菊陽町は子どもの医療費が中学生まで無料なんだって。すごいね」と驚く母。「無料：確かに凄い！」私も驚きました。熊本市では一定年齢を過ぎると月に定額料金を支払っていました。それが無料なんて！菊陽町は太っ腹だなと思いました。

「私たちが医療費はどこでも、そこでふとある疑問が浮かびました。」

「私たちが医療費はどこでも、そこでふとある疑問が浮かびました。」から支払われているのだろうか？それは、働く人たちが毎月きちんと納めてくれている税金から賄われていました。税金。それは、国から地方公共団体が法令の定めに基づいて、国民や住民に負担を求める金銭のことです。税金には様々な種類があり、子どもの私には縁遠い話ですが、直接関係するものには消費税があります。今秋、消費税の増税が決まっています。支払いが多くなることに多少の不満を感じていたのですが、そうした税金が直接自分の生活に関係しているのだと思うと、仕方ないことなのかなと思えました。自分が出したお金が、誰かの生活を支えている。そう思うと、なんだかちよっぴり誇らしい、うれしい気持ちを感じました。今、この社会は、様々な税金の恩恵を受けて成り立っています。それは変わりゆくどんな時代でも、その社会を支えた方々がきちんと税金を納めて下さったお陰なのです。納税は義務だと言われると、束縛されているようで良い気持ちがないので、私は「恩返し」と思うことにします。当たり前に納税できる幸せ、住み良い環境、それらを与えてくれた先人たちに感謝して、これからの未来を生きる人達が同じように幸せになれるよう、私はきちんと税金を納めることで、社会に貢献していきたいと思えます。

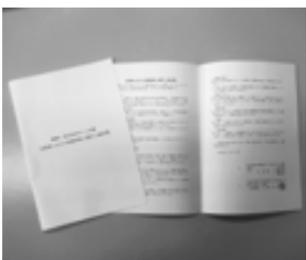


赤ちゃん本舗と 災害時物資供給協定を締結

総務課 復興推進係 ☎(232)2111

町は、アカチャンホンポ ゆめタウン光の森店がオープンしたことを受け、株式会社赤ちゃん本舗と12月18日(水)、災害時物資供給協定を締結しました。これは、平常時の物資供給などに伴う情報交換に加え、災害時には乳幼児用品やマタニティ関連用品などの調達協力をしてもらうことで、被災者生活に大きな支援となるものです。株式会社赤ちゃん本舗

が九州の自治体と災害時物資供給協定を締結するのは初めてです。



取り交わされた協定書



「菊陽町町民アンケート調査」にご協力をお願いします 総合計画策定に向けたアンケート

総合政策課 企画政策係 ☎(232)2112

総合計画は、町の将来像や取り組み施策を定めた、重要な計画です。町では、令和3年度から始まる次の計画(第6期総合計画)を策定する準備を進めており、1月末から、計画に皆さんのご意見を反映させるためのアンケート調査を実施しています(計画策定は令和2年度)。

菊陽町のよりよい発展のために、ご理解とご協力をお願いします。

対象者

18歳以上の町民の皆さんから、無作為に4,500人を選んでいます(アンケート用紙をお送りしています)(無作為で抽出するため、同一世帯の複数の人にアンケートが届くことがあります)。

提出方法

記入後、同封の返信用封筒で2月17日(月)までに投函してください。

子ども・子育て支援事業計画の パブリックコメントを実施します

- 意見の対象
第2期菊陽町子ども・子育て支援事業計画(素案)
 - 閲覧場所 ①子育て支援課窓口 ②町ホームページ ③西部支所(光の森市民センター内)
 - 募集期限 3月5日(木)
 - 提出資格 町に居住する人など(詳しくは、ホームページおよび素案に記載しています)
 - 提出方法 ①子育て支援課へ持参・郵送 ②FAX ③電子メール
- ※住所、氏名、電話番号を明記してください。記載がない場合や電話・口頭での意見は受け付けません。
- 意見の取り扱い
意見の概要と町の考え方については、ホームページなどで公表しますのでご了承ください。なお、個別の回答はしません。
 - 提出先・問い合わせ
〒869-1192(住所不要) 菊陽町役場 子育て支援課 ☎(232)2202 FAX(232)4923 電子メール kosodatashien@town.kikuyo.lg.jp

介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査にご協力を

- 令和3年度からの「第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定のため調査を実施します。届いた人はご協力をお願いします。
- 対象者
①総合事業・要支援認定を受けている全ての人
②総合事業・要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人 3,200人
- 提出期限
2月14日(金)までに投函してください。
- 問い合わせ
介護保険課 介護予防係 ☎(232)2366

